

## 出水市 行政改革推進委員会 議事録

会議名	第8期第4回 出水市行政改革推進委員会
開催日時	令和5年3月14日 午後6時30分から
開催場所	出水市役所 本庁4階 大会議室
委員の出席状況	染川委員（出席）林田委員（出席）税所委員（出席）田代委員（出席） 秋田委員（欠席）松崎委員（出席）西野委員（出席）桐野委員（出席） 三浦委員（出席）土屋委員（欠席）矢野委員（出席）

### ◆ 会次第及び会議要旨

事務局	1 挨拶
	2 出席関係課長の紹介 くらし安心課長、生活環境課長
	3 開会
	4 議事 令和4年度行政評価の外部評価について
	(1) 外部評価の視点について 各施策について、次の視点で御意見をお願いしたい。
委員	1 現状をしっかりと分析できているか。
	2 課題を解決する取組が施策の方向性に示されているか。
事務局	3 優先的に取り組むべき内容が方向性に示されているか。
	4 過去の外部評価での意見は、どのように進められているか。
委員	5 評価点を上げるためにできる取組はないか。
	(2) 環境衛生・環境美化の推進
委員	・ 評価シートの現状分析における現状とは2021年度のことか。そして、2022年度はどうなっているか分からないけども、2023年度をどうしていくかを施策の方向性で検討しているのか。
事務局	⇒ 貴見のとおり。2021年度の実績を今年度分析し、2023年度以降に反映させようとするものである。御指摘のように分析のために1年間空いている状態であり短縮したいと考えている。
委員	・ 自治会の未加入者が増えていて、比較的高齢化率の高い自治会でも未加入者が出てきている。自治会の加入状況を把握されているか。
くらし安心課長	⇒ 直近3年間の3月1日現在の加入率は次のとおり。 令和5年度 71.96%、令和4年度73.44%、令和3年度74.42%
委員	・ ごみステーションへの不法投棄対策はどうしているか。
生活環境課長	⇒ 自治会長から連絡があった場合、中身を確認して個人が特定できれば指導している。直接未加入者からどうすればよいか問い合わせがあった場合、ごみ出し会員のよう制度があるか自治会に確認していただきたいと伝えている。お住まいの区域の自治会にごみ出し会員の制度がない場合、高尾野に設置している未加入者でも捨てられるステーションを紹介している。
くらし安心課長	⇒ 自治会未加入の方、アパートに単身で住まわれている方、仮住まいの方は加入率が低いようである。加えて、高齢者の場合、自治会活動に参加ができないことを理由に

委員	<p>自治会を脱会されるケースもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 転出の際に、燃えるごみ・燃えないごみを混載で出されるケースがある。それを片付けなければならず難儀している。なんとかできればありがたい。また、以前、市にベトナムなど外国人向けにごみ出しルールへの周知を行って欲しいとお願いし、対応してもらったことがある。そのような外国人向けの取組を拡大していただきたい。</li> </ul>
生活環境課長	<p>⇒ 外国人への指導について、多くの場合事業所で雇用されている方なので、事業所を通じてお願いしている。転入手続の際、事業所の付き添いの方にごみ出しルールを説明している。今後もあらゆる機会を利用して未加入者への周知をしていきたい。ただし未加入者への周知は難しく、広報紙が届かず防災無線も設置されていないため、周知の方法が郵送等に限られることがネックになっている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 転勤のため、これまで複数の自治体で転入手続を経験しており、その度に自治会加入を勧められた。出水市以外の自治体では、自治会に加入しないとごみが出せない、広報紙が届かない、セーフティネットから外れる等、強めに加入を勧められたが、出水市の場合は、どちらでもどうぞのような弱い勧め方だった。加入率減少の一因では。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私は自治会の役員をしており、アパートの自治会未加入者のごみステーションへのごみ出しマナーに苦慮している。燃えるごみに空き缶等分別せずに捨てている。アパートによっては、敷地内に独自にごみステーションを設置し、収集をお願いされているところがある。そのような対応を統一的にできないか。例えば、各アパートへのごみステーション設置を義務化できないか。市で収集が難しくアパート経営者が費用負担する場合は、ごみ収集費用は、管理費や共益費等として居住者に負担してもらえないか。アパートでごみ収集を委託してもらえれば、自治会の負担を減らせるのでは。</li> </ul> <p>⇒ アパートについては20戸以上の1つの自治会のように捉え、市でのごみ収集ができることとしているが、アパートごとにごみステーションを設けるといった法令等はないことから、以前からのアパートの場合で、ステーションがないと相談があった場合は、自治会に相談するようお伝えしている。</p>
生活環境課長	<p>個別の収集については、アパートの規模が異なることもあり、義務化が難しい状況がある。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会には美化推進委員が設置されており、市から若干の補助がある。当該委員が未加入者に説明していく取組が必要では。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未加入者のごみ出しマナーの問題は、自治会ごとに違う方法で進めていった方がいいか。統一的な対策も必要ではないか。</li> </ul>
委員 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アパート等に対して設置義務化などの条例等での対応は有効ではないか。</li> <li>・ 施策の目指す姿「まちが衛生的である」の評価指標「まちは、ポイ捨てなどがなくきれいと感じますか」のアンケート結果の評価がマイナス1点になっている。これは皆さんの御意見されたこととつながりがあるが、目指す姿と評価をするということの間が抜けていて、評価はアンケートの回答率を上げることだが、そのためにどういう施策をしていこうかという議論が抜けている。</li> </ul>
委員	<p>ごみ問題については、高齢化が進み、共働きや定年延長等により働く人も増えてきて家事等に充てる時間が減っていく中で、市が条例等できっちり決めていくことが、最短で問題解決できる方法ではないか。皆さんからの御意見を踏まえて2023年度に取り組んで目指す姿に近づけていっていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治体によっては未加入者でも出せるごみステーションがあるようである。他自治体の取組が参考になるのでは。</li> </ul>

委員長 委員	⇒ 他自治体の良いところは真似していった良いのでは。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみステーションに不法投棄があると管理している人が大変なんだということが分かれば改善につながるのでは。</li> <li>出水市でもある程度都市化が進んでいると思われる。都市化には都市化なりの施策が必要。公共経済学では、ごみ収集に係る市のコストと、ごみを有料化した場合の不法投棄対応に係る市のコストを比較し、収集した方が安く済むので収集を行うという考え方がある。ただ、市がごみ収集を行うと、不法投棄は減るかもしれないが、自治会加入者が減る可能性もある。市がどちらを重視するか選択が必要になる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「6 評価指標」の生活系可燃廃棄物と事業所系可燃廃棄物が減少しており良い傾向にあるのでは。どのような取組をされているのか。</li> </ul>
生活環境課長	⇒ 生ごみ対策として、キューロ、コンポスト、電動生ごみ処理機の紹介や購入補助をしているほか、リサイクルの推進や事業所ごみの減量に力を入れている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所ごみの減量化については、事業所への締め付けにならないよう留意していただきたい。</li> </ul>
委員 生活環境課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ収集のコストはどうなっているか。</li> </ul> <p>⇒ 人件費・燃料費の上昇にともないコストは増えている。ごみは減っているが、コストは増えている状況である。</p>
	<b>(3) 市民参画の推進</b>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>LINEの登録者数はどれくらいか。</li> </ul>
事務局 委員長	<p>⇒ 28, 167人であり、人口の約54%が登録していることになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部評価の視点としては、まず現状分析のところ、市民参画のために市が何をしているのか説明をお願いしたい。</li> </ul>
企画政策課長	<p>⇒ 配布資料に各施策のために行っている事業名の一覧を記載しているのでお目通しいただきたい。それらの事業により指標の目標達成に向けて取り組んでいる。もう少し詳細にご説明すると、広報紙の改善やLINEによる情報発信に取り組んでいる。以前の広報紙では、広報紙に情報を掲載すること中心で考えていたが、近年は、どうやって伝えるか・手に取ってもらえるかに力を入れている。ホームページやLINEについても同様である。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>これらの事業が施策の成果に結びついているか検証が必要であるということは、問題提起として挙げておきたい。先ほどのようなごみの問題についても同様で、皆さんが問題と考えていることに関連する事業がどれで、その事業が効果があるのか検証ができる。これは行政評価の大事な機能の1つである。</li> </ul>
	<b>(4) 地域コミュニティの活性化</b>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域まちづくり活動への自分の参加が重要だと思う人の割合」の指標の難度がC（現状の取組を続けることで達成可能）という設定で良いのか。</li> </ul>
くらし安心課長	⇒ 当初は現状の取組を続けることで達成可能と考えていたが、自治会加入率減少の状況があり、現在は、現状の取組で達成できる状況にはなくCという設定が間違っている可能性がある。再度見直したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>私の住む地域では、市に頼らないで地域を盛り上げようとコミュニティを作り、20年程活動が続いている。今の平均年齢は77歳である。子育て支援、青少年育成、観光など様々な分野で活用している。これからインバウンドの活動が回復していく傾向にある。観光分野の活動の問題として、半分ボランティアのため、担い手が減ってきていることが挙げられる。自分たちが最後ではないかと思っている。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>指標「地域まちづくり活動への自分の参加が重要だと思う人の割合」について、先ほどの発言にあった市に頼らないで地域を盛り上げようという市民は、「自分の参加が重要だと思う」にチェックをつけるのか。そういった方々がこのアンケートにどう答えるのかが指標に大きく関わる。現状分析のところで見えていかなければならない。そのような地域のがんばりを認めて応援するような取組ができないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>週2日、子育て支援活動を行っている。毎月部屋を借りて、おばあちゃん達の昔からの知恵を教えたりしており、部屋の模様替えもしているが、補助は年に5万円である。また、自費でおやつを提供も行っている。</li> </ul>
委員長	<p>⇒ そのような御尽力が、市が良くなったり、市民が誇れるまちにつながっていくと思われる。鹿児島はUターンが多いと感じる。御尽力あってこそだと思う。</p> <p>がんばっている地域があればそれを認めてあげるという取組も人々の励みになり有効ではないか。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>私の自治会では市の助成金が減ってきているため、資金確保策として、区域内にある市の公衆トイレの管理を自治会が指定管理者として受託するようしてもらった。また、自治会で無人販売も行っている。無人販売が高齢者の生きがいにつながっているケースがあり、嬉しさも感じている。高齢者と若い人の交流にも取り組んでいる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が、地域に恩返ししようという人とそうでない受け身の人に二極化している。</li> </ul>
委員	<p>⇒ 海外は宗教の関係で寄附行動が身近にあるが、対照的に日本は社会貢献の意識が低い。そのような中、地域でがんばられていることを知らない方が多いと思うので、広報紙等で周知すると活動が広まるのでは。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>私の住む地域では、いきいきサロンに参加する高齢者を募集してもなかなか集まらない。どのように声をかければ参加していただけるのか苦慮している。地域のつながりが強い自治会との差を感じる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>私の自治会内では、昔から住んでいる人が自治会活動に積極的で、最近住み始めた人はあまり積極的ではないと感じる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>私の自治会では、最近住み始めた人の方が、役員など積極的に引き受けて自治会を動かしてくれている。昔から住んでいる人は頑として動かない。若い人を役員に選んであげると、その人たちは他所を見てきているので、やってみようという姿勢がある。自治会の傾向として、若い人が増えてきている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔から住んでいる人は、慣習を引きずって動きにくい面は確かにある。</li> </ul>
委員長	<p>⇒ 外部評価は、市に対してご意見をいただく場なのでご留意いただきたい。</p> <p>市が自治会役員を集めて、コミュニティの活性化の方法など悩んでいることについて意見交換をする場を設けてみても良いのではないか。</p>
事務局	<p><b>5 その他</b></p> <p>第5回について確認</p> <p>日時：令和5年3月16日（木）18時30分～</p> <p>場所：1階 多目的ホール</p>
委員長	<p><b>6 閉会</b></p> <p>これで第4回会議を終了する。</p> <p>ありがとうございました。</p>
一同	<p>ありがとうございました。</p>